

# 桑野っ子通信

令和五年八月二十八日発行

桑野小学校学校新聞

発行責任者 校長 角田 雅仁

## 残暑厳しい中、二学期スタート

### 人や社会と「つながる力」の成長に期待

#### 夏休み中の無事故

長い夏休み中、おうちでは充実したお休みを過ごされたことと思います。夏季休業中、大きな怪我や事故もなく、子ども達が無事に過ごせたことに感謝いたします。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

#### 進んで学んだ子ども

夏休み初旬の七月二十四日〜二十七日にかけて、桑野公民館を会場にしてサマースクールを実施しました。自ら志願して毎日二十名以上の子ども達が学習に励みました。元教員の方や大学生や地域のボランティアの方に分からないところを質問し、分かるまで取り組む姿がたくましいと感じました。

言われて勉強するのではなく、自ら目標をもって学ぶ子どもを学校では応援しています。



【サマースクールの様子】

#### 始業式の校長式辞

元気なあいさつ、とっても気持ちがいいですね。長い夏休みが終わりましたが、楽しいお休みになりましたか。休み中、桑野小の子ども達には、大きなけがや事故が一つもありませんでした。素晴らしいです。み

んなに拍手しましょう。自分の命は自分で守るといふ約束を、しっかりと守ってくれたお陰です。

始めに、みなさんにお知らせしなければならぬことがあります。担任の先生が病気でお休みになった学級があります。先生がいない時こそ、学級の力の見せ所です。みんなで協力しながら、しっかり学習や生活に取り組みでいきましよう。

次に、気をつけてほしいことがあります。大分暑い日が続いていますよね。熱中症です。北海道の二年生の女の子が、体育の授業の後で、熱中症で亡くなるという悲しい事故がありました。桑野小でも、熱中症になる子どもがいるのではないかと、とても心配です。体調に気をつけ、無理をしないことと、水分を十分に摂ること、そして、暑さのため外出を控えるお知らせを聞いたら、室内で過ごすようにしましょう。

では、二学期にみなさんに大事にしてほしいことについて一つお話し

します。一学期の皆さんの生活の様子を見て気になっていたことがあります。それは、友達に悪口を言ったり、わけもなく押しついたりしたたりしてしまったりして、トラブルになることが多かったなということです。それは、「つながる力」が十分に身につけていない人がいるからなのかな、と感じていました。



#### つながる力

キャリア教育の四つの力のうちの一つの「つながる力」は、人と人を言葉や心でつないでいく力で、これから大人になっていく上でとても大切な力です。人の話を聞いている人がうなずきながら話を聞いてくれたら、嬉しいですよ。話をしてくれる人が、自分に分かりやすく教えてくれたら嬉しいですよ。心がこもったあいさつをされたら、心がさわやかになりますね。そういう人と人と言葉や心でつながる力をパワーアップしてほしいな、と思っています。

この力の元になっているのは、「人を思いやる気持ち」です。相手を思いやる行いを心がける人は、決して人の悪口を言ったり、いやなことをしたりしません。相手が嬉しい気持ちになるので自分も気分がいいです。だから、つながる力がパワーアップするのです。

桑野小の二学

#### おもいやるきもち



【作業に協力いただいた皆様】

#### 校庭がきれい

八月二十日(日)のPTA環境整備作業では、保護者の皆様に大変お世話になりました。校庭の除草や、廃棄するテレビの撤収作業を行っていただき、学校がきれいになりました。早朝からの奉仕作業、ありがとうございます。お陰で、きれいな環境で二学期をスタートすることができました。

期は、「つながる力」をパワーアップさせる楽しい行事がいっぱいです。十月には、くわのっ子の仲間で大きな公園へ行き、そこで「くわのっ子ウォークラリー」を行います。みんなで力を合わせてやるゲームやクイズは楽しいですよ。それから十一月には「くわのっ子文化祭」もありません。学級のみならず発表会をやります。力を合わせれば、きっと素敵なことができますよ。大事にしてほしい「つながる力」をパワーアップできるように、みんなでがんばっていきましよう。